

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
マルホ発條工業 工場増築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2008年

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.1
Q1 室内環境								3.0
1 音環境		1.9	0.15	-	-			1.9
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-			
1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		1.4	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		1.0	0.60	3.0	-			
2 界壁遮音性能		2.0	0.40	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	-			
2 温熱環境		2.6	0.35	-	-			2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-			
1 室温設定		3.0	0.38	3.0	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38	3.0	-			
5 湿度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-			
3 光・視環境		3.5	0.25	-	-			3.5
3.1 昼光利用		4.2	0.30	-	-			
1 昼光率	打合せ室の昼光率4%	5.0	0.60	3.0	-			
2 方位別開口		3.0	-	3.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-			
3.3 照度		4.0	0.15	-	-			
1 照度	照度850lxを確保	4.0	1.00	3.0	-			
2 照度均斉度		-	-	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-			
4 空気質環境		4.0	0.25	-	-			4.0
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-			
1 化学汚染物質	内部仕上材料はすべて規制対象外(F☆☆☆☆)とする。	4.0	1.00	3.0	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 タンク・カビ等		-	-	-	-			
4 レゾネンラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.3	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-			
2 自然換気性能	打合せ室において自然換気有効開口面積を1/10.6確保。	4.0	0.33	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-			
4 経気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御	建物全体が禁煙で、喫煙室を設置。	5.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.4
1 機能性		3.2	0.40	-	-			3.2
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.60	-	-			
1 広さ・収納性	一人当たりのスペース22.4㎡。	5.0	0.33	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33	3.0	-			
3 バリアフリー計画		3.0	0.33	3.0	-			
1.2 心理性・快適性		3.6	0.40	-	-			
1 広さ感・景観		3.0	0.33	3.0	-			
2 リフレッシュスペース	喫煙室、リフレッシュスペース、自動販売機設置。	5.0	0.33	3.0	-			
3 内装計画		3.0	0.33	3.0	-			
1.3 維持管理		-	-	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	-	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31	-	-			3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.1	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	ビニル床タイル、化粧石膏ボード等耐用年数20年以上の材料を	5.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.3 適切な更新						
2.4 信頼性			3.0	0.19	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-
3 対応性・更新性			4.2	0.29	-	-
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31	-	-
1	階高のゆとり	階高 1階、2階:4.45m、3階:4.15m。	5.0	0.60	3.0	-
2	空間の形状・自由さ	製造室の壁長さ比率:0.089。	5.0	0.40	3.0	-
3.2 荷重のゆとり		製造室の許容荷重:6000N/m ² 。	5.0	0.31	3.0	-
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40	-	-
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-
2 まちなみ・景観への配慮		落ち着いた色調、圧迫感の低減、緑地の確保、既存緑地の保全。	4.0	0.40	-	-
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-
1 建物の熱負荷抑制			3.0	-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.29	-	-
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-
3 設備システムの高効率化		ERR=26.9	5.0	0.43	-	-
4 効率的運用			3.0	0.29	-	-
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-
1.1	節水	節水コマ、節水型便器、擬音装置を採用。	4.0	0.40	-	-
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			4.1	0.63	-	-
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	電炉材	4.0	0.21	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	ビニル床タイル、磁器質タイル、再生砕石	5.0	0.21	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	乾式工法の採用、設備配管スペースの確保。	5.0	0.25	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22	-	-
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68	-	-
1	消火剤	ハロン消火剤を使用していない。	4.0	0.33	-	-
2	断熱材		3.0	0.33	-	-
3	冷媒		3.0	0.33	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率90%	3.7	0.33	-	-
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	-
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-
3	交通負荷抑制	適切な駐輪場、駐車場の確保、荷捌き用駐車場の確保、2箇所の	5.0	0.25	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1	騒音		3.0	1.00	-	-
2	振動		-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	専門家の参加、エネルギー有効利用、運用方法の検討、広告照	5.0	0.70	-	-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-